

こんにちは！池多小学校のあり方協議会です。

昨年12月18日(水)に市立池多公民館において第6回協議会を開催し、池多小学校の再編の方向性について話し合いました。



◆池多小学校の再編の方向性を決定◆

池多小学校の再編の方向性について話し合い、本協議会としては、複式学級を早期に解消し、一定規模の人数を確保するために、池多小・古沢小・老田小の3校での枠組みが最もよいという結論に至りました。

そのため、協議会の方向性として、

「池多・古沢・老田小学校3校の統合に向けた話し合いを進める」

ことを決定しました。

【(統合ケース別)統合にかかる年数とメリット・デメリットについて】

統合年数	メリット	デメリット
呉羽地区の小学校が一齐に呉羽小学校へ統合する場合		
最低でも 10年以上	・呉羽中学校区として一齐に統合することにより、統合を繰り返す必要がない。	・統合後の児童数を収容できる施設がないことから、学校施設の整備に年数がかかり、その間複式学級が継続となってしまう。
池多小学校、古沢小学校の2校で統合する場合		
最短で 2年程度	・ケース別の内、最も早く統合が実現できると想定され、短期的には複式学級の解消が見込まれる。	・一時的には複式学級が解消するものの、最短で令和11年度より再度複式学級の編制が見込まれ、再度の統合が考えられる。
古沢小学校・池多小学校・老田小学校の3校で統合する場合		
最短で 3年程度	・比較的短い期間で統合が実現できると想定され、一時的には複数クラス(1学年あたり2クラス)の編制も可能となり、複式学級の編制は当分の間は見込まれない。	・児童数の減少により、いずれは再度の統合が考えられる。

◆地区説明会での活動報告について◆

1月24日(金)に、市立池多公民館において、協議会の方向性やこれまでの活動について、地区住民の方々へ報告する地区説明会を開催し、12名が参加されました。



林会長(池多地区自治振興会長)からのコメント

一昨年、150周年記念行事を進めている最中に、再編の話が出たときは、「どうして今さら統合なのか」というのが正直な思いでしたが、令和12年度には、全校児童数が20人を下回るという状況を聞き、何とかしなければと考えるようになりました。

池多小・古沢小・老田小3校の交流会では、子どもたちの声のトーンが普段と全然違っていました。子どもたちに楽しい環境をつくってあげるのが大人の責任です。皆さん各自の考えがあると思いますが、意見交換しながら何とか前に進めていけたらと考えております。

中山副会長(池多小学校PTA会長)からのコメント

今年度、池多小学校の児童数は47名で、2年生と3年生が同じ教室で学ぶ複式学級となっています。また、令和8年度には、全学年が複式学級となる見込みです。こうした現状から、多くの保護者の方から、大勢の子どもたちがいる環境の中で、我が子を学ばせたいという切実な思いを聞き、これまで地域の皆さんと話し合いをさせていただきました。多くの方々にご理解いただき、滞りなく進めることができるようご協力をお願いしたいと思います。

◆STEP2 統合検討協議会について◆

STEP2統合検討協議会が設立されれば、統合を検討する地区合同で統合の可否について合意形成を図る予定です。

【主な協議事項】

統合の時期

統合の場所

通学手段
(スクールバス)

◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・大関)

○所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakuraビル7階

○電話 076-443-2241 ○FAX 076-443-2194

○E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はここから